カーボンニュートラルの達成に向けた取り組みと今後の展望

代表取締役社長
岡澤尊宏

HIOKI

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

HIOKIの理念から全ては繋がっている

理　念

経営指針

ビジョン2030

サステナビリティ基本方針

人間性の尊重

社会への貢献

持続可能な社会の実現に貢献

地域社会への貢献

10つある経営指針のうちの２つがサステナビリティに関係する

「測る」の先へ。➡ 新たな測定・検査基準の創出

ミッション：電気計測を通してお客様の安全で有効なエネルギー活用を促進し、社会の安心と発展に貢献する。

ビジョン　：HIOKIは、業界のフロントランナーとして「測る」を進化させ続け、世界のお客様と共に持続可能な社会をつくるソリューションクリエイターになる。

事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

①電気計測を通してお客様の安全で有効なエネルギー活用を促進し、社会の安心と発展に貢献する
②全てのステークホルダーの皆様と、積極的なコミュニケーションを通じて信頼関係を構築する
③社会の一員として、社会の発展に役立つ活動や環境保全活動に取り組む

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

HIOKI

サステナビリティ年表

「HIOKIの理念」のもと、サステナビリティの取り組みをしてきました。
ビジョン2030の実現に向け、さらに取り組みを推進します。

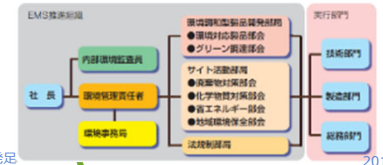
「HIOKIの理念」
人間性の尊重
社会への貢献

ISO14001取得

1997年
京都議定書の制定（COP3）

2000年
CDP発足/MDGs発足

EMS組織体制整備



太陽光パネル設置

2015年
SDGsの採択/パリ協定（COP21）

「ビジョン2030」
サステナビリティ方針策定

1995年
第1回気候変動枠組み条約締約国会議（COP1）

1986 → 1990 → 1995 → 2000 → 2005 → 2010 → 2015 → 2020 → 2025 → 2030 → 2035

HIOKI フォレスト ヒルズ

ふるさとの森づくり

HIOKI奨学・緑化基金　設立

ケニア植樹

グリーンポイント

ゴミゼロ作戦

海外販社の植樹活動

健康増進センター

プラチナくるみん

食品ロス低減

- CO_2フリー電力へ切り替え
- オフグリッドEV充電システム実証開始
- 2MWの太陽光発電設備を導入予定
- カーボンニュートラルガス購入
- 長野県森林由来のJ-クレジット購入

統合報告書発行

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

HIOKI

サステナビリティ基本方針

HIOKIグループは、「人間性の尊重」「社会への貢献」という理念のもと、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

- 電気計測を通してお客様の安全で有効なエネルギー活用を促進し、社会の安心と発展に貢献する
- 全てのステークホルダーの皆様と、積極的なコミュニケーションを通じて信頼関係を構築する
- 社会の一員として、社会の発展に役立つ活動や環境保全活動に取り組む ➡ **HIOKIサステナビリティ宣言**へ

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

HIOKIサステナビリティ宣言

脱炭素化に向け、以下目標に基づき取り組みを継続。

■2025年（創業90周年）
スコープ1、スコープ2のカーボンニュートラルを達成

■2035年（創業100周年）
スコープ3のカーボンニュートラルを達成

スコープ3は、2035年までの目標に向け、
できる限り排出権取り引きに頼らずカーボンオフセットを実現する方針。

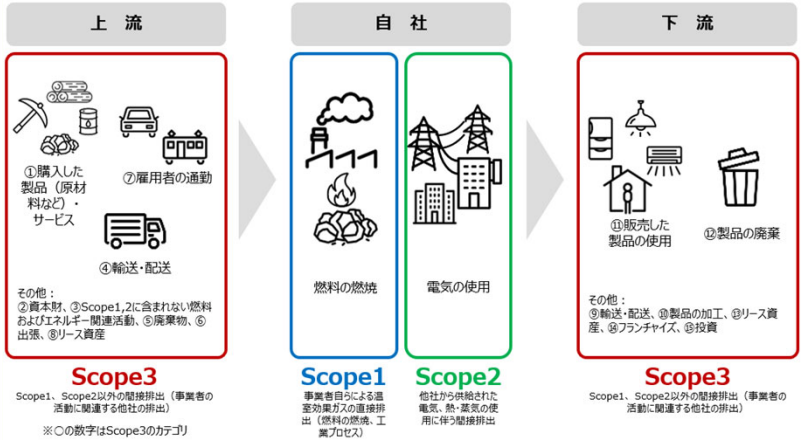
© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

2022年　HIOKIサステナビリティ宣言

脱炭素化に向け、以下目標に基づき取り組みを継続。

■**2025年（創業90周年）**
GHGプロトコル
スコープ1、スコープ２のカーボンニュートラルを達成

■**2035年（創業100周年）**
GHGプロトコル
スコープ3のカーボンニュートラルを達成



https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/scope123.html

スコープ3は、2035年までの目標に向け、**<u>できる限り排出権取引に頼らず</u>**カーボンオフセットを実現する方針。

2023年までの対応策として・・・

スコープ１：社用車のEV化（ガソリンの軽減）、カーボンニュートラルガスの購入（クレジット）
J-クレジットの購入（国内ガソリン・軽油分）

スコープ２：水力由来の再エネ電気購入、２MWのソーラーカーポート建設（2025年）
施設のLED化

スコープ３：製品の消費電力軽減、ポリ袋の廃止、再生材/バイオプラスチックの検討
サーキュラーエコノミーの検討

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

サステナビリティへの取り組み

HIOKI サステナビリティ宣言

脱炭素化に向け、以下目標に基づき取り組みを継続。

- 2025 年（創業 90 周年）
  スコープ 1、スコープ 2 のカーボンニュートラルを達成
- 2035 年（創業 100 周年）
  スコープ 3 のカーボンニュートラルを達成

スコープ 2

ソーラーカーポート導入（2025 年完成予定）

約 23,000 ㎡の敷地に発電容量 2MW のソーラーカーポートと
2MWh のリチウムイオン蓄電設備を導入予定
本社で利用する電気の約半分をまかなえる

スコープ 1

社用車の EV 化

社用車を EV に切り替え
また、ソーラーカーポートを電源とした
オフグリッド型の EV 充電システムの
実証実験を東大発スタートアップの
（株）Yanekara と実施中

スコープ 2

厚生設備の LED 化

屋内練習場とテニスコートの電灯を LED 化
CO_2 排出量 8.76t-CO_2/ 年を削減の見込み

スコープ 1

J- クレジット購入

ガソリン / 軽油をオフセットするため長野県の
森林由来 J- クレジットを 100t-CO_2 購入
国内のガソリン / 軽油の使用量約 1/3 をオフセット

スコープ 2

機器の入れ替え

消費電力量が多いコンプレッサーを入れ替え
CO_2 排出量 20.9t-CO_2/ 年を削減の見込み

スコープ 1

カーボンニュートラルガス導入

本社で利用するすべてのガスを認証がとれた
カーボンニュートラルガスに切り替え
国内のガスの CO_2 をオフセット

スコープ 3

ポリ袋包装を一部廃止

持ち運び用ケースに入れて販売していた製品
（クランプメーターなど）で実施
CO_2 排出量 0.83t-CO_2/ 年を削減の見込み

スコープ 3

充電池への切り替えを促進

電池使用製品のニッケル水素充電池対応を推進
アルカリ乾電池から切り替えることで
CO_2 排出量が最大 95％削減の見込み

カーボンニュートラル達成に向けて

ソーラー
カーポート
第一期完了

Yanekara※
導入

※ EV充電ステーション

社用車の
EV化推進

カーボン
ニュートラル
ガス、J-クレ
ジット購入

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

HIOKI

カーボンニュートラル達成に向けて

NiMH
電池対応

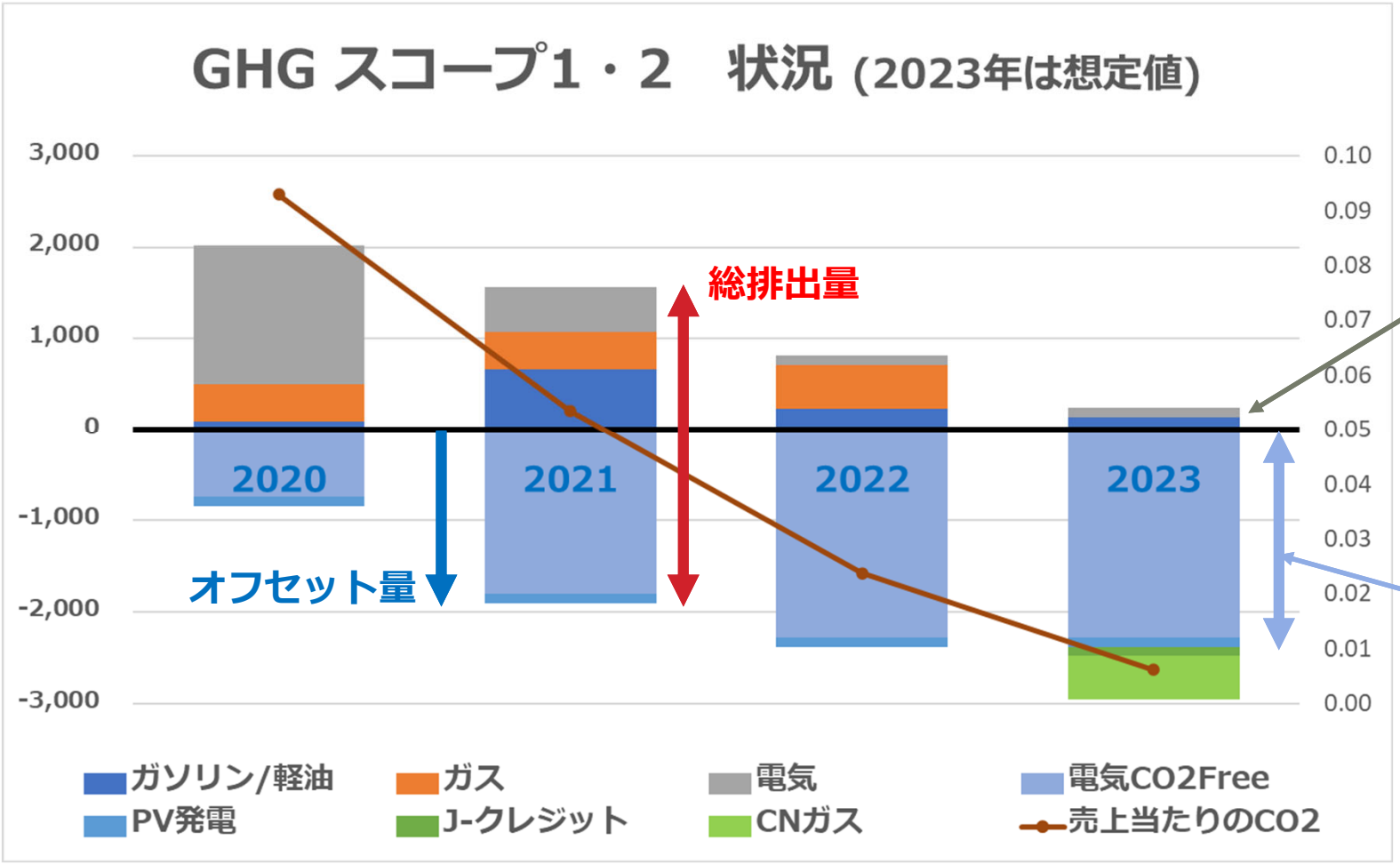
ポリ袋を
一部廃止

海の森
プロジェクト

自動運転
EVバス
実証実験

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

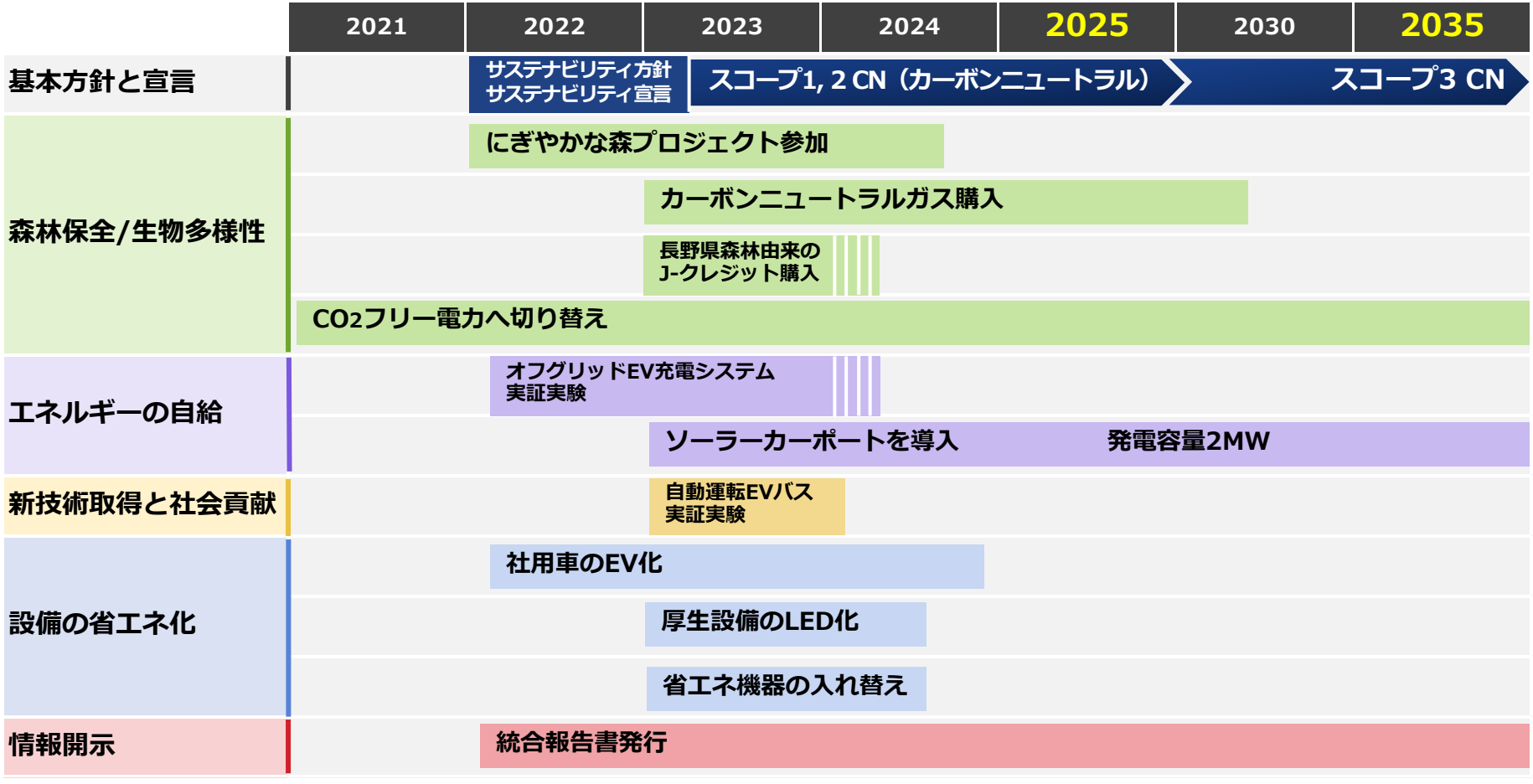
HIOKI



© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

HIOKI

サステナビリティ　スコープ１,２達成への取り組み



ビジョン2030
「測る」の先へ

HIOKIは業界のフロントランナーとして
「測る」を進化させ続け
世界のお客様と共に持続可能な社会をつくる
ソリューションクリエイターを目指します

ソーラーカーポート詳細説明

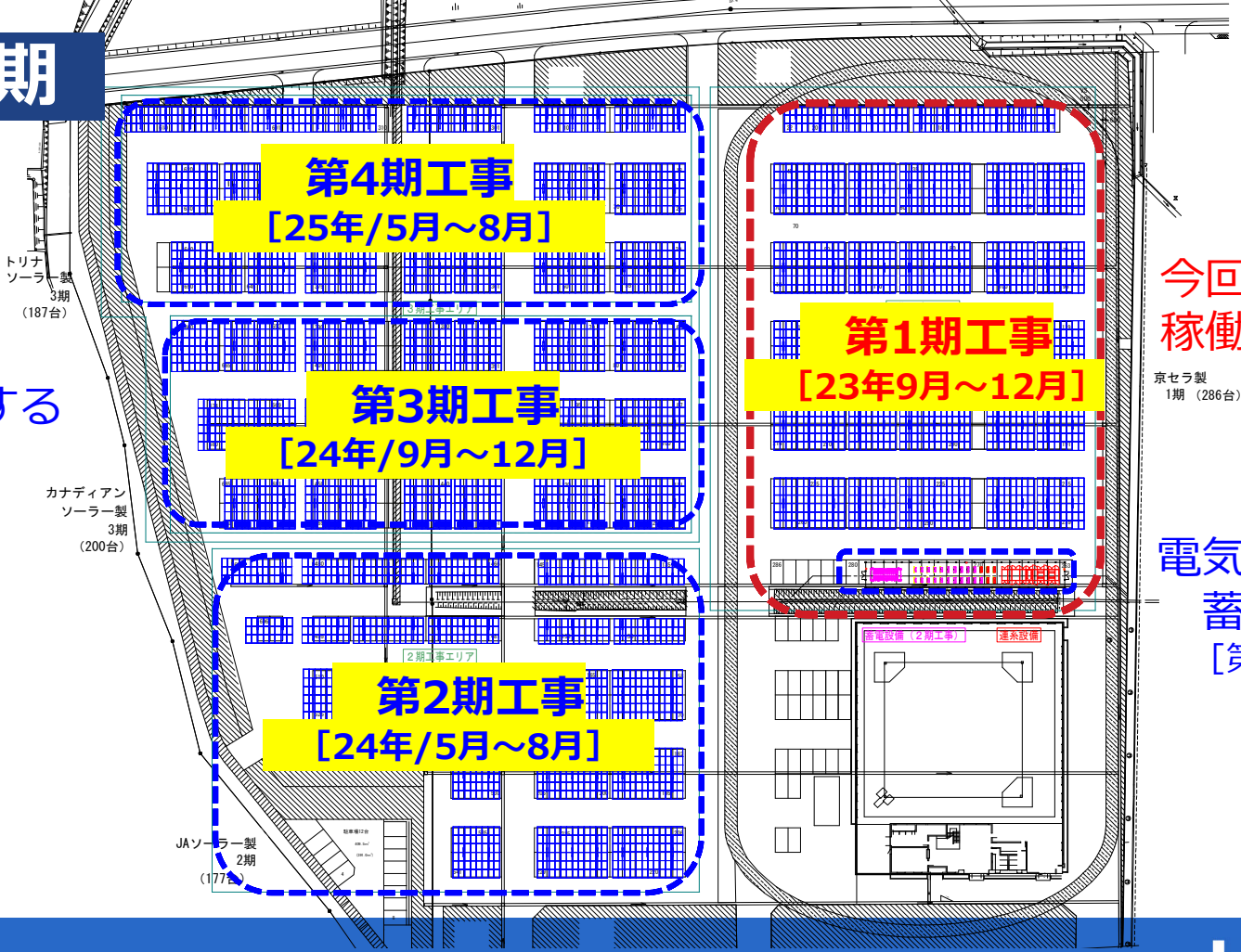
HIOKI

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

現地遠景

現地上空写真
（健康増進センター）
電気設備棟
今回竣工、稼働したエリア

全体工期



今後施工する
エリア

今回竣工
稼働したエリア

電気設備棟
蓄電池設置
［第2期工事］

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

HIOKI

設置システムの概要

設置場所：本社南側駐車場

約23,000㎡　　全駐車台数：約 600台分

第1期工事エリア：約 270台分

タイプ　：カーポート型太陽光発電システム（全量自家消費）

蓄電池　：リチウムイオン電池　2MWh

（第2期工事で設置予定＝2024/12月）

工期　　：2023年秋　第1期工事着工　年末竣工

～　第2、3、4期工事　2025年秋完了

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

比較データ

時間	デマンド値 (kW)	デマンド値 (kW)
09:00	1,016	1,255
09:30	914	1,255
10:00	859	1,227
10:30	803	1,186
11:00	823	1,235
11:30	868	1,219
12:00	862	1,156
12:30	592	1,040
13:00	610	1,006
13:30	628	1,009
14:00	653	983
14:30	734	947
15:00	807	960
15:30	865	885
16:00	892	857
16:30	882	935
17:00	896	939
17:30	827	869
18:00	767	828

実証実験場としての役割

1.お客様の「現場」を知る

施行時に実施するつぎのような測定・検査に立会い

- 接地抵抗及絶縁測定
- 直流側　竣工検査
- 直流側　耐圧試験
- 使用前自己確認検査

2.新エネルギー分野の技術動向を知る

太陽電池モジュールを工期ごと、異種メーカー製品を採用

パワーコンディショナー、蓄電池に最新の製品を採用

- 発電効率、劣化、メンテナンス性など各種データを取得
- お客様（メーカー、ユーザー）の困りごとの把握と解決

☆商品開発

☆サービス提供

にフィードバック

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

今後の取り組み

1.使用エネルギーの削減

・たゆまぬ省エネルギー活動（運用、設備更新）

・建物の省エネルギー、ZEB化推進

2.創エネルギー

・第2期～第4期工事

・その他建物、駐車場を活用したソーラー発電

・水素エネルギーの活用検討

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION

HIOKI

© 2024 HIOKI E.E. CORPORATION